

第1学年2組 道徳学習指導案

指導者 大澤 恵子
場 所 1年2組教室

- 1 主題名 生命の有り難さ 内容項目3 (1) 生命尊重
- 2 資料名 へその緒 (道徳教育推進指導資料3 文部省)

3 主題設定の理由

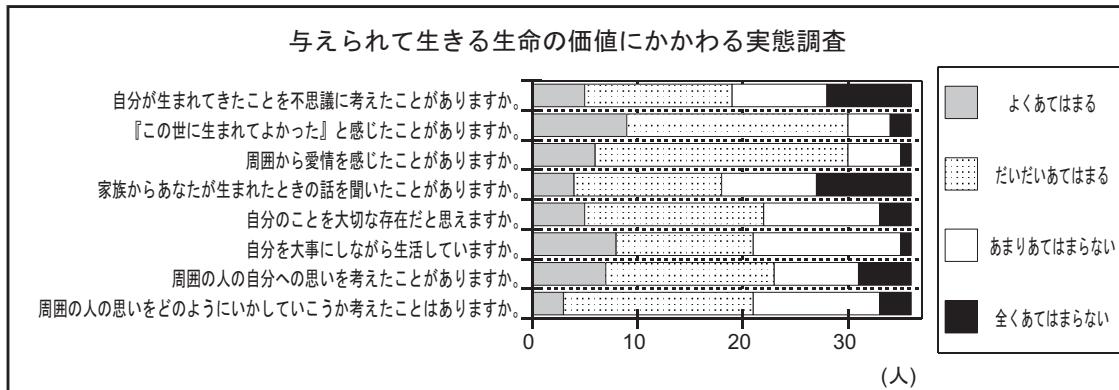
(1) ねらいとする価値について

内容項目3 (1) は、「生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する」ことをねらいとしている。生命はかけがえのない大切なものであって、決して軽く扱われてはならないものである。自他の生命を尊重するには、まず自らの生命の尊さについて考えることが必要である。そして、他の人の生命へと目を向けていくことで、あらゆる生命を大切にする心がはぐくまれるのである。

中学生の時期は、病気とは無縁の健康な生活を送ることが多い。また、身近な人の死を目の当たりにすることが少なかつたり、殺人を繰り返すテレビドラマやゲームなどで虚構の死に慣れたりして、命の重さやかけがえのなさを感じにくくなっている。生命の有限性やその価値について考えることもあまり多いとはいえない。こうした時勢の中では、生徒一人一人が、自らの生命が誕生した神秘性や周囲の思いに触れ、生命の有り難さを実感させる機会を設けることが必要であると考える。

そこで、与えられた生命が多くの人によって生かされてきたことへの実感を通して、生命の有り難さに迫りたい。また、かけがえのない生命が与えられていることに喜びと感謝の念を持ち、自らの生命を見つめ直すことが必要と考え、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について (男子19人女子18人、計37人)



本学級におけるねらいとする価値にかかる実態調査（平成21年11月9日実施、第1学年2組37人）をみると、16人の生徒が自分を大切な存在と感じていないことが分かった。また、「生命についてどう思いますか。」という問いに、「考えたことがなかった。」という回答もあり、生命の有り難さや神秘性について考える機会や場を意図的にもつ必要性が明らかになった。

そこで、生命の神秘性や尊さに気付かせながら、自らの生命を見つめ直させたい。そして、大切に育てられてきたことに目を向けさせ、生命の有り難さを実感させたいと考える。

(3) 資料について

合唱コンクールの練習のことで、クラスのみんなから悪口を言われた明子が、階段から落ちてけがをしてしまう。けがは治ったものの心の傷がいえない明子は、生きる希望を失い自暴自棄になっていく。見かねた両親は、へその緒を見せ、生まれたときの話をする。そのことで、明子が自らの生命のかけがえのなさに気付くという資料である。明子と心配する両親の気持ちから、与えられた生命の有り難さに気付き、自らの生命を大切にしようとする心情を育てたいと考え、本資料を用いた。

4 ねらい

与えられた生命の有り難さに気付き、自らの生命を大切にしようとする心情を育てる。

5 ねらいに迫るための支援の分析基準

類型	与えられて生きる生命の価値について	生徒の姿
1	理解が十分でない。	生命の神秘性や生まれてきたことへの有り難さにあまり気付いていない。
2	理解している。	生命の神秘性や生まれてきたことへの有り難さに気付いている。
3	自分とのかかわりでとらえようとしている。	両親の思いを考えながら、自らの生命を意識している。
4	自分なりに発展させようとしている。	与えられた生命を自分の課題として発展させ、これからの生き方について考えている。

6 展開

主な活動と発問	予想される生徒の反応	支援の手立て
1 胎児の様子のVTRを視聴し、話し合う。 ○ VTRを見て、どう思いますか。(7)	・すごい音だね。 ・生きてるって感じ。 ・小さい。かわいいね。	・胎児の様子や心音を視聴させることにより、自分の命の芽生えについて目を向けさせ、本時への動機付けをする。 ・今の自分の体の大きさに着目させ、成長を実感させたい。 1類を中心とした支援（意図的指名） 感想を発表させ、自分もまた母親の胎内で大切に守られてきたことをおさえ、関心を高めたい。
2 資料「へその緒」を読んで話し合う。 ○ 「死にたい。」と言ってダダをこねる明子さんはどんな気持ちだったのだろう。 ○ 明子さんは、テープやお母さんの言葉を聞いてどんなことを思ったのだろう。	・私なんかどうなってもいいや。 ・ひろみまで裏切るなんて。 ・とても寂しい。 ・どうせ私なんか生きていたって。 ・私は独りぼっちだ。 ・ごめんなさい。 ・死ぬなんて言わなければよかったです。 ・生命は自分だけのものではない。 ・親は自分を必要としているけど友達はどうかな。 ・私の回りには、自分を心配してくれる人がいたんだ。 ・生命は大切な。 ・私の生命には両親の生命も入ってるんだ。 ・大事にしていかなくてはならない。	・へその緒の入った桐の箱を提示しながら、資料を範読したい。 ・けがが治っても、生きる希望をなくしてしまった明子の気持ちに共感させたい。 ・へその緒を見せた母親の気持ちから、自分の生命は両親から与えられ、大切にはぐくまれてきたことを考えさせたい。 2類を中心とした支援（補助発問） 「生きる気力のなくなった明子さんに、お母さんはどうしてへその緒を見せたのだろう。」 母親の気持ちを想像させることで、両親の我が子への思いに迫りたい。(1)
○ 明子さんの気持ちが変わったのは、自分の命をどう考えたからだろう。 ○ ワークシート記述②	・自らの生命の有り難さに気付いから、明子が前向きな気持ちをもてたことをおえさせたい。 3類を中心とした支援（補助発問） 「この後、明子さんはどうしたと思いますか？」 感じとった生命の有り難みを、これから的生活にどのように生かしていくべきなのか考えさせたい。(4) ・自分で生きているのではなく、両親の思いによって生かされている生命であることに着目させたい。	・自らの生命の有り難さに気付いから、明子が前向きな気持ちをもてたことをおえさせたい。 3類を中心とした支援（補助発問） 「この後、明子さんはどうしたと思いますか？」 感じとった生命の有り難みを、これから的生活にどのように生かしていくべきなのか考えさせたい。(4) ・自分で生きているのではなく、両親の思いによって生かされている生命であることに着目させたい。
3 胎児だった自分に応援メッセージを送る。	・胎児だった自分にメッセージを送ることで、自己の振り返りや生命の有り難さへの気付きを確認したい。	4類を中心とした支援（補助発問） 「この後明子さんが両親の思いにこたえるために、どのような生き方をしていったらいいと思いますか？」 将来への思いや課題をもたせながら、生命の有り難さや尊さについて考えを深めさせたい。(5)
4 教師の説話を聞く。	・生命の有り難さや自らの存在の大切さを再認識できるような終末にしたい。	1類を中心とした支援（応援メッセージ） 出産は胎児にとっても命懸けであることに着目させ、頑張って生まれてきた自分がいることに気付き、生命のかげがえのなさに迫りたい。
		評価 与えられた生命の有り難さに気付き、自らの生命を大切にしようとする心情がもてたか。 (ワークシート、発表、観察)

7 各場面における類型別支援

類型	具体的な支援	予想される生徒の反応	支援
1	(⑦)胎児の様子のVTRを見て、どう思いますか。 (意図的指名)	生きてるって感じ。 すごい音だね。 小さい。かわいいね。	どんなところからそう思うの? お母さんの心音も入ってるのかな? 君たちはこの何倍になったんだろう。なぜ大きくなれたのかな?
2	(①)生きる気力のなくなった明子さんに、お母さんはどうしてへその緒を見せたのだろう。 (補助発問)	明子は独りぼっちじゃない、お母さんとつながってるんだよ。 明子はお母さんの大切な子なんだよ。 せっかく生まれた生命なんだから大事にして。	へその緒が切れてしまってもつながっているものがあるんだね。 なんで大切なんだろう? どのようにして生まれてきたのかな?
3	(④)この後、明子さんはどうしたと思いますか。 (補助発問)	どんなにつらいことがあっても、生命を大切にするようになった。 勇気を出して友達と和解した。 元気になって退院して、登校した。	大事な何かに気付いたからだね。何だと思う? かなりの勇気が必要だね。どうして明子さんは勇気がもてたのかな? 明子さんを変えた人って誰だろう?
4	(⑤)この後明子さんが両親の思いにこたえるためには、どのような生き方をしていけばいいと思いますか。 (補助発問)	自分を大切にして、将来に向けて頑張っていこう。 親を大切にして生きる。	そうだね。すばらしいね。親を大切にしていくってどういうことかな? 今できることは何だろう?

8 事後の活動

生命の有り難さについての到達が不十分だった生徒に対しては、展開部2の中心発問のワークシートの記述から支援していく。

類型	見取りの視点	ワークシートの記述例 (1, 2類は①, 3, 4類は②より)	ワークシートの支援例	他の支援
1	○生命の神秘性や生まれてきたことへの有り難さに気付くことができたか。	こんなテープがあったなんて。 心配かけてごめんなさい。 自分のことしか考えてなかつた。	テープやへその緒をずっと大切してくれたんだね。 それってどういう気持ちからかな。みんなのお母さんの気持ちも同じかもしれないね。 回りの気持ちに気付けたのはすばらしいね。	○諸活動等での頑張りを認め、自尊感情を高める。 (個別支援等)
2	○両親の思いを考えながら、自らの生命を意識することができたか。	死ぬなんて言わなければよかつた。 両親にありがとうって思った。 これからは生命を大切にしようと思った。	「死にたい」って言葉を聞いたとき、両親はどう思つただろうね。 両親というのは、子どもが生まれる前からずっと心配してくれているんだろうね。 よく気が付いたね。あなたの生命は両親のたくさんの愛情のかたまりなんだよね。	○別の視点(動物の子育ての話)から、自分の生命について再度考えさせる。 (朝の会、帰りの会等)
3	○これから生き方を考えることができたか。	生命は自分だけのものではない。 両親が生命をくれたんだと思った。生命を大切にしたい。 親は自分を必要としてくれているけど、友達はどうかな。	生命を大切にするって具体的にどうする事か。 明子さんがどんなふうに生きていくことが、両親が喜ぶことなのかな。 確かに友達は心配だけど、明子さんにとって一番大切なものは何なのだろうね。	○別の視点(夢に向かって頑張っている人の話)から自分の生き方について再度考えさせる。 (朝の会、帰りの会等)
4	○生命の有り難さへの意識を、これからどのような場でどのように生かしていくのかについて考えることができたか。	両親からもらった生命だけれど、ここまで育ててくれたのも両親なんだと思った。 両親に感謝して、しっかり生きたい。	その思いにこたえるために、あなただったら、具体的にどんな場面でどんなふうに頑張れるかな。 よく気が付いたね。もう少し具体的に考えてみよう。	○意欲をさらに継続できるように新たな場を設定する。 (心のファイル)
全体	※ 心のファイル(道徳ノート)や心のノート(P72~75)等で、気持ちや考え方の変容を追いかながら支援していく。 ※ 家庭科「一日家事体験」活動では、苦労を惜しまず働く両親の立場を理解することで、育てられている自分の生命の大切さを意識させる。			

へその緒

氏名



明子さんは、
テープやお母さんの
言葉を聞いてどんな
ことを思つただろう。



応援メッセージ

